令和6年度 大学卒業程度（特別募集）
第2次試験（論文課題）

試験区分	行政 病院 事務
------	-------------

ライフスタイルや働き方に対する価値観が多様化する中、県民の皆さんが年齢や性別などにかかわらず、誰もがその能力を最大限発揮するためには、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現が不可欠ですが、ワーク・ライフ・バランスを実現する上での課題を一つ挙げ、あなたなりの着眼点や分析を踏まえた解決策を述べてください。

試験区分	土 木
------	-----

近年、気候変動の影響により、全国各地で水害が激甚化、頻発化しており、今後は降雨量、洪水発生頻度とも大幅に増加することが予想されています。

このような中、本県では、河川、下水道、砂防、海岸等の各管理者が主体となっ
て行う堤防整備や砂防ダム整備等の治水対策に加えて、国、県、市町村、民間企業、
住民等、集水域から氾濫域にわたる流域全体のあらゆる関係者が連携、協働して水
害を軽減する「流域治水」を計画的に推進しています。

そこで、この「流域治水」を進める上で、より効果的と考える具体の対策や連携
方策について、あなたの考えを述べてください。

令和6年度 大学卒業程度（特別募集）
第2次試験（論文課題）

試験区分	建 築
------	-----

高知県では、戸建て住宅以外の建築物への木材利用を促進することを目的に、一定量の木材を使用した4階建て以上の集合住宅や商業施設、オフィスビルなどを「環境不動産」として認定し、税制面などで優遇する制度を設けています。建築物への木材利用の意義やそれによって得られる効果についてあなたの考えを述べてください。

また、建築物への木材利用を進める際に、木材で造りづらいと思う建築物の種類や部位を上げ、その理由を述べてください。

試験区分	農 業
------	-----

農業者の高齢化や担い手不足が進む中、労働力の確保や生産量の維持が、農業振興の大きな課題となっています。その解決策として、ロボットやAI、IoTなど先端技術や農業データを活用し、農業の生産性向上を図る「スマート農業技術の開発・普及」が期待されております。

高知県では、IOPクラウド「SAWACHI」を活用したデジタル化や、防除用ドローン、自律式・リモコン式草刈り機の導入等による省力化などのスマート農業を推進し、生産性の向上を図っているところです。

そこで、高知県の農業の維持発展に向け、今後どのようなスマート農業技術の開発・普及に取り組んでいくべきか、あなたの考えを述べてください。

令和6年度 大学卒業程度（特別募集）
第2次試験（論文課題）

試験区分	林業
------	----

高知県では、経済活性化に向けたトータルプランである産業振興計画の林業分野において、「林業適地への集中投資」などの施策に取り組んでいます。

この計画では、森林の平均傾斜が緩く路網からの距離が近いなど効率的に林業が行える林業適地を中心として、ICTやデジタル技術、先端林業機械を活用するスマート林業への転換が進み、伐採後の再生林をはじめ森林資源の再生産につながる事業活動が活発に行われることを目指しています。

そこで、この「林業適地への集中投資」という施策に高知県が取り組んでいる背景や課題、また取組による効果について、あなたの考えを述べてください。

試験区分	化学
------	----

南海トラフ地震により膨大な量の発生が予測される災害廃棄物については、迅速な復旧・復興のため、県内において可能な限り、迅速に処理していく必要があります。

そこで、有害物質を含む災害廃棄物を処理する上で、県民の不安解消や理解を得るために必要な具体的施策について、化学技術者の視点からあなたの考えを述べてください。

令和6年度 大学卒業程度（特別募集）
第2次試験（論文課題）

試験区分	電 気
------	-----

近年、通信技術やデータ処理の技術など、IT分野における技術については、目まぐるしい発展が遂げられています。その一方、本県が保有するダム及び水力発電施設等は、高度経済成長期時代に整備されたものが多く、高経年化しており、施設整備を行っていくことは喫緊の課題となっています。

今後、それらの施設の更新を行うにあたっては、IT技術を導入した、遠隔監視化や業務の効率化を主眼に置いた対策が必要となってきます。そこで、AIやIoTなどIT技術を導入した場合のメリット・デメリットを挙げた上で、あなたが県職員として採用された後、どのような対策を行い、業務の効率化や保安体制の確立を図っていくのか考えを述べてください。

試験区分	社 会 福 祉 (児 童 福 祉)
------	----------------------

行政機関で働く児童福祉司にとって、個別のケースへのケースワークの実践とともに、援助対象者に関わる他の専門職（司法、教育、医療、福祉、保健等）と連携した対応が求められます。

そこで、あなたが児童福祉司として効果的なケースワークを実践していく上で、他の専門職とどのように連携していくべきか述べてください。